

# 地方創生関係交付金事業評価シート

	担当課名	建設産業課	事業No.	4
事業名	徳島東部地域におけるDMO推進			
目的	徳島県東部地域15市町村及び民間事業者が共同で徳島東部地域DMO「イーストとくしま観光推進機構」を設置し、戦略的マーケティング、情報発信、広域連携による観光地域づくりの推進を行う。			
実施内容	地域DMO「イーストとくしま観光推進機構」において次の事業を実施。【地方創生推進交付金事業】 1) 誘客促進のため15市町村ごとに1つ以上の体験型観光コンテンツを開発 2) 観光資源の魅力度向上をテーマに定期的にワーキンググループを開催			
重要業績評価指標 (KPI)	(※事業評価については、DMO法人の外部評価委員会において実施)			
達成度				

## 【事業費と財源内訳】

(単位：円)

2020年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	1,140,000	1,045,163	522,581	事業費の1/2

## 【2020年度の取組と課題】

- ワーキンググループ開催  
観光に意欲的な事業者の方を集め「食&技」をテーマにワーキンググループを開催した。
- 体験型観光コンテンツ開発等支援  
15市町村ごとに新たな体験型コンテンツ開発を目指しました。  
取組としては、町内漬物工場にて奈良漬体験・奈良漬工場見学・しろ瓜収穫体験・試食や料理体験等を2日間の行程で行うコンテンツを開発した。
- その他  
DMO管理によるSNSにて藍住町「バラ園」の記事が人気記事となった。  
旅行会社等が県内広域観光ツアーを開催し、藍住町では「藍の館」を訪れた。
- 課題  
町内観光事業者、DMO、市町村、商工業者といった多様な関係者が連携し、地域に眠る観光資源の発掘、磨き上げを図る必要がある。

## 【今後の取組】

コロナ禍による旅行価値観による影響を踏まえ、旅の近場化がされている中、地元への愛着を持ってもらうことを目的に商品開発を行っていききたい。  
日本遺産に認定された「阿波藍」と絡めて町内の新たな魅力を発信するとともに観光誘客の推進及び体験型・滞在型のコンテンツの磨き上げのほか、SNS等による情報発信を行い、藍住町の観光コンテンツの露出の拡大を図っていききたい。  
また、地域資源の魅力が知られ、評価・シェアされていくことで観光交流人口の拡大を図り、経済が潤う地域を目指す。

## ※藍住町地方創生推進会議の意見

(※事業評価については、DMO法人の外部評価委員会において実施)